

砂利・土・岩石採取場廃止（完了）届（出）書作成要領

平成23年7月13日 保安第1542号
令和元年7月1日 産振第252号

この要領は、砂利採取法第24条、千葉県土採取条例第12条及び採石法第33条の10の規定に基づき砂利、土及び岩石の採取を廃止（土については完了を含む。）した場合の提出書類の作成方法等について定める。

1 定義

「採取の廃止」とは、単に掘削行為が終了したことではなく、採取計画認可基準に定める「採取跡の処理」（砂利）、「採取跡地の整備」（土）及び「掘削終了後の措置」（岩石）が終了したことを言い、認可された採取計画は未達成であるが、これら基準に合致した跡地整備が終了した場合を含む。

ただし、土採取については、認可採取計画どおり掘削及び採取跡地の整備が終了した場合を「採取の完了」と言う。

なお、採取計画に採取跡地の植栽緑化や農地復元等が含まれている場合は、原則としてその計画に従うことが必要である。

「一部廃止」とは、認可された採取場の一部において採取を廃止し、採取場区域から除外することを言う。これに対し、採取場全域を廃止することを、この要領では「全部廃止」と呼ぶこととする。

2 廃止（完了）の届出の際に提出すべき書類

(1) 届（出）書

- ア 砂利採取場 砂利採取廃止届書（様式1）
- イ 土採取場 土採取完了（廃止）届出書（千葉県土採取条例施行規則第15号様式）
- ウ 岩石採取場 岩石採取休止・廃止届書（様式2）

(2) 添付書類

- ア 使用土地目録
- イ 公図の写
- ウ 見取図2
- エ 求積図（一部廃止に限る。）

(3) 一部廃止に伴って認可申請時の書類・図面等に変更が生じる場合は、別に該当するものを提出する必要がある。

3 書類作成上の注意

(1) 砂利採取廃止届書（記載例1、2）、土採取完了（廃止）届出書（記載例4、5）、岩石採取休止・廃止届書（記載例7、8）

ア 「採取計画の認可（変更の認可を含む。）を受けた年月日及び認可番号（土の場合は「採取計画認可年月日」及び「認可番号）」欄は、現に有効な認可（変更の認可を含む。）のみ記載すること。なお、認可期間後に提出する場合は、最後に受けた認可（変更の認可を含む。）のみ記載すること。

イ 「採取場の状況」欄は、「別紙のとおり」と記載し、記載例3（砂利）、記載例6（土）、記載例9（岩石）を参考に、採取場の状況を詳細に説明した別紙を添付すること。

ウ 一部廃止の場合は、「採取場の区域」欄に、一部廃止前後の土地の表示並びに筆数、廃止区域の土地の表示並びに筆数、一部廃止前後の採取場面積及び一部廃止前後の掘削面積を記載すること。

オ 認可期間内に廃止（完了）に至らず、認可期間後に整備を行って廃止（完了）届を提出する場合は、認可期間満了の年月日と整備完了の年月日を併記すること。

(2) 使用土地目録（記載例 10, 11）

一部廃止の場合は、一部廃止区域及び一部廃止後の採取場区域をそれぞれ別葉として作成すること。

(3) 公図の写

一部廃止の場合、当該区域が特定できれば採取場全体の表示は要しない。

(4) 見取図 2

採取跡地整備後の現況（仕上げ高、植栽緑化、残存防災施設等）を反映すること。一部廃止の場合、当該区域が特定できれば採取場全体の表示は要しない。

(5) 求積図

一部廃止後の残存区域の求積を行うことを原則とする。なお、プランメータ及びCAD等によって求積した場合は、見取図 2 に計測方法と計測数値を記載することで求積図に代えることができる。

4 提出部数

正本 1 部及び関係機関への廃止通知用として、下表の区分に従った数の届（出）書写し及び添付書類を提出すること。

なお、2 - (3) により提出する書類は 1 部（千葉市及び市原市以外の知事認可の砂利採取場及び岩石採取場は 2 部）提出すること。

廃止通知先 区分		照会先			その他			
		市町村	関係機関 (警察署除く)	警察署	発行組合 保証書	発行組合 承諾書	保安課	地域振興 事務所
全部廃止	産業振興課直轄区域認可	◎	□	□	□	□		
	産業振興課認可	◎	□	□	□	□		◎
	地域振興事務所認可	◎	□	□	□	□	◎	
一部廃止	産業振興課直轄区域認可	◎	○	●	○	○		
	産業振興課認可	◎	○	●	○	○		◎
	地域振興事務所認可	◎	○	●	○	○	◎	

凡例 ◎ 届（出）書写し+全付属書類

○ 届（出）書写し+求積図を除く付属書類

● 届（出）書写し+公図及び求積図を除く付属書類

□ 届（出）書写しのみ（添付書類不要）

5 施行

この要領は、平成 23 年 8 月 1 日から施行する。

この要領は、令和元年 7 月 1 日から施行する。

×整理番号	
×受理年月日	

砂利採取廃止届書

年 月 日

様

住 所

氏名又は名称及び
法人にあっては
その代表者の氏名

登録年月日及び
登録番号

砂利採取法第 24 条の規定により、次のとおり届け出ます。

- 1 採取場の区域
- 2 採取計画の認可（変更の認可を含む。）を受けた年月日及び認可番号
- 3 当該採取場における砂利の採取を廃止した年月日
- 4 当該砂利採取場の状況
別紙のとおり

- (備考) 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
2 ×印の項は、記載しないこと。
3 採取場の一部を廃止する場合は、届書の末尾に「(一部)」と表示すること。
4 氏名の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができる。
5 「当該砂利採取場の状況」については、土地の掘削の跡地の埋め戻しその他砂利の採取に伴う災害の防止を図るための措置の実施状況を含めて別紙に記載すること。

別紙

砂利採取場の状況

項 目		状 況
掘削跡の処理 （認可基準遵守）	掘削跡の埋めもどし	
	採取跡の崩壊防止	
	のり面及び小段	
	沈でん池の跡処理	
災害防止対策	雨水流出対策	
	警戒標識及び防護柵等	
認可計画遵守		
他法令遵守	林地復元 （植栽・緑化）	
	農地復元	
	赤道復元	
	施設・廃棄物等撤去	
跡地利用計画		
その他、特記事項		

※受理年月日	年 月 日
--------	-------

土採取完了（廃止）届出書

年 月 日

様

住 所

氏名又は名称及び
法人にあっては
その代表者の氏名

登録年月日及び
登録番号

千葉県土採取条例第12条第1項の規定により、次のとおり土の採取の完了（廃止）について届け出ます。

採取場所在地	
採取計画認可年月日	
認可番号	
完了（廃止）年月日	
当該砂利採取場の状況 (採取跡地の土砂等の崩落の 防止方法及び施設並びに跡地 利用計画等)	

- (備考) 1 ※の欄は、記載しないこと。
2 個人が届け出る場合は、氏名を自署することにより、押印を省略することができる。
3 不要の文字は、抹消すること。

別紙

土採取場の状況

項 目		状 況
(採取跡地の整備) 認可基準遵守	掘削跡 (平坦)	
	のり面勾配及び小段	
	土砂崩壊防止 (植栽・土留施設)	
災害防止対策	雨水流出対策	
	警戒標識及び 防護柵等	
認可計画遵守		
他法令遵守	林地復元 (植栽・緑化)	
	農地復元	
	赤道復元	
	施設・廃棄物等撤去	
跡地利用計画		
その他、特記事項		

×整理番号	
×受理年月日	

岩石採取休止・廃止届書

年 月 日

様

住 所

氏名又は名称及び
法人にあっては
その代表者の氏名

登録年月日及び
登録番号

採石法第33条の10の規定により、次のとおり届け出ます。

- 1 採取場の区域
- 2 採取計画の認可（変更の認可を含む。）を受けた年月日及び認可番号
- 3 当該岩石採取場における岩石の採取の休止・廃止の年月日（休止の場合にあっては、再開予定年月日）

廃止	年	月	日
休止	年	月	日
再開	年	月	日
- 4 当該岩石採取場の状況
別紙のとおり

- (備考) 1 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 ×印の項は、記載しないこと。
3 「休止・廃止」は、届出事由によりいずれか一方を消すこと。
4 採取場の一部を廃止する場合は、届書の末尾に「(一部)」と表示すること。
5 氏名の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができる。
6 「当該岩石採取場の状況」については、採取跡の崩壊防止施設の設置その他岩石の採取に伴う災害の防止を図るための措置の実施状況を含めて別紙に記載すること。

別紙

岩石採取場の状況

項 目		状 況	
認可基準遵守 (掘削終了後の措置)	保全区域の土留工事		
	露天採掘終了後の残壁		
	人に対する危害防止	立入禁止柵	
		埋立て	
	緑化		
	維持管理		
雨水流出対策			
認可計画遵守			
他法令遵守	林地復元		
	農地復元		
	赤道復元		
	施設・廃棄物等撤去		
跡地利用計画			
その他、特記事項			

様式 1

×整理番号	
×受理年月日	

砂利採取廃止届書

年 月 日

様

住 所

氏名又は名称及び
法人にあっては
その代表者の氏名

登録年月日及び
登録番号

砂利採取法第 2 4 条の規定により、次のとおり届け出ます。

- 1 採取場の区域
〇〇市〇〇×××番地ほか××筆
- 2 採取計画の認可（変更の認可を含む。）を受けた年月日及び認可番号
××年××月××日 〇〇指令第×××号
××年××月××日 〇〇指令第×××号（変更認可）
- 3 当該採取場における砂利の採取を廃止した年月日
××年××月××日（整備完了 ××年××月××日）
- 4 当該砂利採取場の状況
別紙のとおり

変更認可を受けている場合は二段書きする。

認可期間内に廃止に至らず、認可期間後に整備を行って廃止届を提出する場合は、認可期間満了の年月日と整備完了の年月日を併記する。

(備考) 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 ×印の項は、記載しないこと。
 3 採取場の一部を廃止する場合は、届書の末尾に「(一部)」と表示すること。
 4 氏名の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができる。
 5 「当該砂利採取場の状況」については、土地の掘削の跡地の埋め戻しその他砂利の採取に伴う災害の防止を図るための措置の実施状況を含めて別紙に記載すること。

×整理番号	
×受理年月日	

砂利採取廃止届書(一部)

年 月 日

様

住 所

氏名又は名称及び
法人にあっては
その代表者の氏名

登録年月日及び
登録番号

採取場区域の
一部を廃止する
場合は「(一部)」
と表示する。

砂利採取法第 24 条の規定により、次のとおり届け出ます。

1 採取場の区域

一部廃止前 ○○市○○×××番地ほか××筆
一部廃止後 ○○市○○×××番地ほか××筆(－××筆)

明細は別添使用土地目録のとおり

廃止区域 ○○市○○×××番地ほか××筆

明細は別添使用土地目録のとおり

採取場面積 一部廃止前 ××, ×××m²
一部廃止後 ××, ×××m²(－×, ×××m²)

掘削面積 一部廃止前 ××, ×××m²
一部廃止後 ××, ×××m²(－×, ×××m²)

掘削面積が
変わらない場
合は、記載を
要しない。

2 採取計画の認可(変更の認可を含む。)を受けた年月日及び認可番号

××年××月××日 ○○指令第×××号
××年××月××日 ○○指令第×××号(変更認可)

3 当該採取場における砂利の採取を廃止した年月日

××年××月××日

4 当該砂利採取場の状況

別紙のとおり

- (備考) 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 ×印の項は、記載しないこと。
3 採取場の一部を廃止する場合は、届書の末尾に「(一部)」と表示すること。
4 氏名の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができる。
5 「当該砂利採取場の状況」については、土地の掘削の跡地の埋め戻しその他砂利の採取に伴う災害の防止を図るための措置の実施状況を含めて別紙に記載すること。

記載例 3 (当該砂利採取場の状況)

別紙

砂 利 採 取 場 の 状 況

項 目		状 況
認可基準 (採取跡の処理)	掘削跡の埋めもどし	深掘り跡及び沈砂池3基は埋め戻し完了。 沈砂池1基は、雨水を誘導し植栽保護のため1mの深さまで埋め戻して残置
	採取跡の崩壊防止	例1 種子吹きつけ 例2 のり面緑化済み。浸食防止のため小段からの雨水はパイプで誘導
	のり面及び小段	のり面勾配45度以下。小段幅2m以上。
	沈でん池の跡処理	例1 ヘドロを乾燥させ、表土を覆土して埋め戻し 例2 該当なし
災害防止対策	雨水対策	例1 残置森林及び土堰堤によって場外流出を防止している。 例2 採取場内側へ緩勾配をつけ、場外流出を防止している。 例3 土水路及び排水柵によって、上水のみ場外に放流する。
	警戒標識及び防護柵等	例1 特に要しない。 例2 残置した沈砂池には防護柵と危険表示を設置
認可計画遵守		例1 認可採取計画では、標高〇〇mまで掘り下げる計画であったが、砂質が悪いので〇〇mで採取終了。 例2 沈砂池No.3は未設置のまま採取終了。
他法令遵守	林地復元 (植栽・緑化)	例1 のり面は種子吹きつけ。平場は杉及び檜を各1500本植栽。〇〇林業事務所の検査は〇〇月〇〇日に終了。 例2 残土処分場とするため林地開発変更申請中。このため、のり面緑化のみ実施
	農地復元	表土により復元。〇〇市農業委員会の検査は〇〇月〇〇日に終了
	赤道復元	復元済み。〇〇市道路管理課の検査は〇〇月〇〇日予定
	施設・廃棄物等撤去	プレハブ事務所解体撤去。搬出路の鉱滓は、資材置き場へ移動
跡地利用計画		例1 山林として復元した。 例2 跡地を特定事業場とするため、〇〇林業事務所及び〇〇市産業廃棄物課へ申請中。〇〇月〇〇日頃許可される見込み。
その他、特記事項		需要の低迷のため、伐採したのみで中止した。

記載例 4 (土・完了)

第15号様式 (第6条)

※受理年月日

年 月 日

土採取完了~~(廃止)~~届出書

年 月 日

様

完了、廃止のいずれかを抹消する。以下、同じ。

住 所

氏名又は名称及び法人にあってはその代表者の氏名

登録年月日及び登録番号

千葉県土採取条例第12条第1項の規定により、次のとおり土の採取の完了~~(廃止)~~について届け出ます。

採取場所在地	〇〇市〇〇×××番地ほか××筆
採取計画認可年月日	××年××月××日 (変更認可：××年××月××日)
認可番号	〇〇指令第×××号 (変更認可：〇〇指令第×××号)
完了 (廃止) 年月日	××年××月××日 (整備完了 ××年××月××日)
当該土採取場の状況 (採取跡地の土砂等の崩落の防止方法及び施設並びに跡地利用計画等)	別紙のとおり

変更認可を受けている場合は二段書きする。

認可期間内に廃止(完了)に至らず、認可期間後に整備を行って廃止(完了)届を提出する場合は、認可期間満了の年月日と整備完了の年月日を併記する。

- (備考) 1 ※の欄は、記載しないこと。
 2 個人が届け出る場合は、氏名を自署することにより、押印を省略することができる。
 3 不要の文字は、抹消すること。

記載例 5 (土・一部廃止)

第 15 号様式 (第 6 条)

※受理年月日

年 月 日

土採取~~完了~~(廃止)届出書(一部)

年 月 日

様

採取場区域の一部を廃止する場合は「(一部)」と表示する。

住 所

氏名又は名称及び法人にあってはその代表者の氏名

登録年月日及び登録番号

千葉県土採取条例第 12 条第 1 項の規定により、次のとおり土の採取の~~完了~~(廃止)について届け出ます。

採取場所在地	一部廃止前	〇〇市〇〇××××番地ほか××筆
	一部廃止後	〇〇市〇〇××××番地ほか××筆(－××筆) 明細は別添使用土地目録のとおり
	廃止区域	〇〇市〇〇××××番地ほか××筆 明細は別添使用土地目録のとおり
	採取場面積	一部廃止前 ××, ××× m ² 一部廃止後 ××, ××× m ² (－×, ××× m ²)
掘削面積が 変わらない場合は、 記載を要しない。	掘削面積	一部廃止前 ××, ××× m ² 一部廃止後 ××, ××× m ² (－×, ××× m ²)
採取計画認可年月日	××年××月××日 (変更認可: ××年××月××日)	
認可番号	〇〇指令第×××号 (変更認可: 〇〇指令第×××号)	
完了(廃止)年月日	××年××月××日	
当該土採取場の状況 (採取跡地の土砂等の崩落の 防止方法及び施設並びに跡地 利用計画等)	別紙のとおり	

- (備考) 1 ※の欄は、記載しないこと。
2 個人が届け出る場合は、氏名を自署することにより、押印を省略することができる。
3 不要の文字は、抹消すること。

記載例 6 (当該土採取場の状況)

別紙

土採取場の状況

項 目		状 況
採取跡地の整備 認可基準遵守	掘削跡 (平坦)	例1 表土を敷きならしほぼ平坦にした。 例2 沈砂池1基は、雨水を誘導し植栽保護のため1mの深さまで埋め戻し、残置。他は平坦になっている。
	のり面勾配及び小段	のり面勾配45度以下。小段幅1~2m。
	土砂崩壊防止 (植栽・土留施設)	例1 崩落箇所は土嚢で埋め、のり面に種子吹きつけた。 例2 のり面は芝を張り、浸食防止のため小段からの雨水はパイプで誘導
災害防止対策	雨水流出対策	例1 残置森林及び土堰堤によって場外流出を防止している。 例2 採取場内側へ緩勾配をつけ、場外流出を防止している。 例3 土水路及び排水柵によって、上水のみ場外に放流する。
	警戒標識及び防護柵等	例1 特に要しない。 例2 残置した沈砂池には防護柵と危険表示を設置
認可計画遵守		例1 認可採取計画では、標高〇〇mまで掘り下げる計画であったが、土質が悪いので〇〇mで採取終了。 例2 沈砂池No.3は未設置のまま採取終了。
他法令遵守	林地復元 (植栽・緑化)	例1 のり面は種子吹きつけ。平場は杉及び檜を各1500本植栽。〇〇林業事務所の検査は〇〇月〇〇日に終了。 例2 残土処分場とするため林地開発変更申請中。このため、のり面緑化のみ実施
	農地復元	表土により復元。〇〇市農業委員会の検査は〇〇月〇〇日に終了
	赤道復元	復元済み。〇〇市道路管理課の検査は〇〇月〇〇日予定
	施設・廃棄物等撤去	プレハブ事務所解体撤去。搬出路の鉋滓は、自社資材置き場へ移動
跡地利用計画		例1 山林として復元した。 例2 跡地を特定事業場とするため、〇〇林業事務所及び〇〇市産業廃棄物課へ申請中。〇月〇日頃許可される見込み。
その他、特記事項		需要の低迷のため、伐採したのみで中止した。

×整理番号	
×受理年月日	

岩石採取体~~止~~・廃止届書

年 月 日

様

住 所

氏名又は名称及び
法人にあっては
その代表者の氏名

登録年月日及び
登録番号

採石法第33条の10の規定により、次のとおり届け出ます。

1 採取場の区域

〇〇市〇〇×××番地ほか××筆

2 採取計画の認可(変更の認可を含む。)を受けた年月日及び認可番号

××年××月××日 〇〇指令第×××号
××年××月××日 〇〇指令第×××号(変更認可)

変更認可を受けている場合は二段書きする。

3 当該岩石採取場における岩石の採取の休止・廃止の年月日(休止の場合にあっては、再開予定年月日)

廃止 ××年××月××日(整備完了 ××年××月××日)
~~休止 ××年××月××日~~
~~再開 ××年××月××日~~

認可期間内に廃止に至らず、認可期間後に整備を行って廃止届を提出する場合は、認可期間満了の年月日と整備完了の年月日を併記する。

4 当該岩石採取場の状況

別紙のとおり

- (備考) 1 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 ×印の項は、記載しないこと。
3 「休止・廃止」は、届出事由によりいずれか一方を消すこと。
4 採取場の一部を廃止する場合は、届書の末尾に「(一部)」と表示すること。
5 氏名の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができる。
6 「当該岩石採取場の状況」については、採取跡の崩壊防止施設の設置その他岩石の採取に伴う災害の防止を図るための措置の実施状況を含めて別紙に記載すること。

様式 2

<p style="text-align: center; font-size: 1.2em;">岩石採取場休止・廃止届書 (一部)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em; margin-top: 20px;">様</p> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">住 所</p> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">氏名又は名称及び 法人にあっては その代表者の氏名</p> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">登録年月日及び 登 録 番 号</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%; text-align: center;">×整理番号</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">×受理年月日</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right; font-size: 1.2em; margin-top: 20px;">年 月 日</p>	×整理番号		×受理年月日	
×整理番号					
×受理年月日					

採取場区域の一部を廃止する場合は「(一部)」と表示する。

採石法第33条の10の規定により、次のとおり届け出ます。

- 1 採取場の区域

一部廃止前	〇〇市〇〇×××番地ほか××筆
一部廃止後	〇〇市〇〇×××番地ほか××筆 (－××筆)
	明細は別添使用土地目録のとおり
廃止区域	〇〇市〇〇×××番地ほか××筆
	明細は別添使用土地目録のとおり
採取場面積	一部廃止前 ××, ×××m ²
	一部廃止後 ××, ×××m ² (－×, ×××m ²)
掘削面積	一部廃止前 ××, ×××m ²
	一部廃止後 ××, ×××m ² (－×, ×××m ²)
- 2 採取計画の認可 (変更の認可を含む。) を受けた年月日及び認可番号

××年××月××日	〇〇指令第×××号
××年××月××日	〇〇指令第×××号 (変更認可)
- 3 当該岩石採取場における岩石の採取の休止・廃止の年月日 (休止の場合にあっては、再開予定年月日)

廃止	××年××月××日
休止	_____年____月____日
再開	_____年____月____日
- 4 当該岩石採取場の状況

別紙のとおり

掘削面積が変わらない場合は、記載を要しない。

- (備考) 1 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 ×印の項は、記載しないこと。
- 3 「休止・廃止」は、届出事由によりいずれか一方を消すこと。
- 4 採取場の一部を廃止する場合は、届書の末尾に「(一部)」と表示すること。
- 5 氏名の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができる。
- 6 「当該岩石採取場の状況」については、採取跡の崩壊防止施設の設置その他岩石の採取に伴う災害の防止を図るための措置の実施状況を含めて別紙に記載すること。

記載例 9 (当該岩石採取場の状況)

別紙

岩石採取場の状況

項目		状況	
認可基準遵守 (掘削終了後の措置)	保全区域の土留工事	例1 表土の崩壊防止のため、法枠工を設置 例2 緩勾配で掘削を行い緑化済み	
	露天採掘終了後の残壁	平均勾配60度以下、小段高20m以下、小段幅2m以上	
	人に対する危害防止	立入禁止柵	例1 特に必要なし 例2 残置した調整池には防護柵と危険表示を設置
		埋立て	深掘り跡及び沈砂池3基は埋め戻し完了。
	緑化	小段に客土を行い、松及び地被類を小段に植栽し、景観保全を図った。	
	維持管理	追肥、補植を適宜実施。掘削跡地の定期的なパトロールを実施。	
雨水流出対策		例1 残置森林及び土堰堤によって場外流出を防止している。 例2 採取場内側へ緩勾配をつけ、場外流出を防止している。 例3 土水路及び排水柵によって、上水のみ場外に放流する。	
認可計画遵守		例1 認可採取計画では、標高〇〇mまで掘り下げる計画であったが、岩質が悪いので〇〇mで採取終了。 例2 沈砂池No.3は未設置のまま採取終了。	
他法令遵守	林地復元	例1 のり面には種子吹きつけ。平場は杉及び檜苗を植栽 〇〇林業事務所の検査は〇〇月〇〇日に終了 例2 残土処分場とするため林地開発変更申請中。このため、のり面緑化のみ実施	
	農地復元	表土により復元。〇〇市農業委員会の検査は〇〇月〇〇日に終了	
	赤道復元	復元済み。〇〇市道路管理課の検査は〇〇月〇〇日予定	
	施設・廃棄物等撤去	プレハブ事務所解体撤去。搬出路の鉋滓は、資材置き場へ移動	
跡地利用計画		例1 山林として復元した。 例2 跡地を特定事業場とするため、〇〇林業事務所及び〇〇市産業廃棄物課へ申請中。〇〇月〇〇日頃許可される見込み。	
その他、特記事項		需要の低迷のため、伐採したのみで中止した。	

記載例 10（使用土地目録 1）

使用土地目録（一部廃止後）

採取場所在地：〇〇市〇〇

使用目的	字	地番	地目	所有権者	※登記簿謄本	※契約書	※許認可書	※備考
事務所	〇〇〇	××-1	山林	〇〇〇〇(株)				×××m ²
	〃	××-2	山林	〇〇〇〇(株)				×××m ²
掘削区域	〃	×××	原野	〇〇 〇〇				×, ×××m ² の一部
	〇 〇	×××-1	山林	〇〇 〇〇				×××m ²
	〃	×××-2	山林	(有)〇〇				×××m ²
	〃	×××-3	山林	〇〇 〇〇				×, ×××m ² の一部
	〃	×××-1	山林	〇〇 〇〇				×××m ²
堆積場	〃	×××	雑種地	〇〇 〇〇				×××m ²
	〃	×××-2	山林	〇〇 〇〇				×, ×××m ² の一部

- (注) 1. ※欄は記入しないこと。
 2. 地番は使用目的別に記入することとし、その順序は原則として事務所、掘削区域等とすること。
 3. 備考欄には公簿面積を記入すること。なお、1筆の一部の場合は「〇〇〇m²の一部」と記載すること。

記載例 11（使用土地目録 2）

使用土地目録（一部廃止箇所）

採取場所在地：〇〇市〇〇

使用目的	字	地番	地目	所有者	※登記簿謄本	※契約書	※許認可書	備考
	〇〇	××-1	山林	〇〇〇〇(株)				×××m ²
	〃	××-2	山林	〇〇〇〇(株)				×××m ²
	〃	××	原野	〇〇 〇〇				×,×××m ² の一部

(注) 1. ※欄は記入しないこと。
 2. 備考欄には公簿面積を記入すること。なお、1筆の一部を廃止し、なお一部が残る場合は「〇〇〇m²の一部」と記載すること。